

令和2年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )

<b>事業名</b>	交通環境創造推進事業			<b>担当部局庁</b>	沖縄振興局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始年度</b>	令和元年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	令和2年度	<b>担当課室</b>	参事官(振興第一担当)		安邊 英明		
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	沖縄振興特別措置法			<b>関係する計画、通知等</b>	沖縄振興基本方針(平成24年5月内閣総理大臣決定)				
<b>主要政策・施策</b>	沖縄振興			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	沖縄の深刻な交通渋滞への取組の一環として、ビッグデータ等を活用した調査・分析等を基に、住民にも観光客にも利用しやすく、かつ魅力的な交通環境の創造に向けた、戦略的な展開を図ることを目的とする。								
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	①公共交通利用促進調査、②観光客移動円滑化調査、③観光競争力強化のための魅力的な景観創出調査を実施する。								
<b>実施方法</b>	委託・請負								
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>			平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	125	125	-		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	125	125	0		
	執行額	-	-	124.9	-	-	-		
	執行率(%)	-	-	100%	-	-	-		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	#DIV/0!	#DIV/0!	100%	-	-	-
<b>令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)</b>	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	交通環境等改善調査委託費	125	-	-					
	計	125	-	-					
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標年度	目標最終年度
			成果実績	-	-	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>	-								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		
<b>定量的な成果目標</b>	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と平成29～令和元年度の達成状況・実績					
	交通渋滞の緩和等の交通環境改善に向けて、今後取り組むべき施策を検討するための調査を目標としているため。			沖縄の深刻な交通渋滞への取組の一環として、ビッグデータ等を活用した調査・分析等を基に、住民にも観光客にも利用しやすく、かつ魅力的な交通環境の創造に向けた、戦略的な展開を図ることを目的とする。R元年度は目標達成に必要な調査・検討等を行った。					

事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績	代替目標		代替指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標最終年度
						-年度	-年度	-年度	-年度	-年度
交通渋滞の緩和等の交通環境改善に向けて、今後取り組むべき施策を検討するための調査	調査の実施及びとりまとめ報告書の件数		実績	件	-	-	4	-	-	
			目標値	件	-	-	4	-	-	
			達成度	%	-	-	100	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込	3年度活動見込	
	調査の実施		活動実績	件	-	-	4	-	-	
			当初見込み	件	-	-	4	4	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	交通渋滞の緩和等の交通環境改善に向けて、今後取り組むべき施策を検討するための調査費用から単位当たりコストを算出 X:執行額/Y:調査数			単位当たりコスト	百万円	-	-	31.2	31.3	
				計算式	百万円/件	-	-	124.9/4	125/4	
生計計画・財政との関係	政策評価	政策	沖縄政策の推進							
	政策評価	施策	沖縄政策に関する施策の推進							
<b>事業所管部局による点検・改善</b>										
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明				
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	自動車利用の依存度が高い沖縄において、ビッグデータ等を活用した調査・分析等を基に、住民にも観光客にも利用しやすく、かつ魅力的な交通環境を創造することにより、深刻な交通渋滞を緩和するための取り組み等を推進するものであり、国民や社会のニーズは高い。				
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	本調査は、全国的な知見を踏まえ実施する必要があり、また、民間事業者の自発的な取り組みに委ねる性質のものでもないため、調査の効率性の観点からも国が率先して実施する必要がある。				
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	自動車利用の依存度が高い沖縄において、ビッグデータ等を活用した調査・分析等を基に、住民にも観光客にも利用しやすく、かつ魅力的な交通環境を創造することにより、深刻な交通渋滞を緩和するための取り組み等を推進するものであり、優先度は高い。				
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	一般競争・指名競争(最低価格)契約方式による支出先の選定を行っており、競争性と公正性を確保し、経費の削減に努めている。なお、本事業においては、一者応札・一者応募となったものがあつたが、ヒアリングによりその原因を調査している。				
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				有					
競争性のない随意契約となったものはないか。				無						
事業の有効性	受益者との負担関係は妥当であるか。				-					
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				○	競争入札により業者を選定し、経費の削減に努めている。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-					
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	事業目的に則し、合理的なものとなっている。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-					
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-					
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-					
関連事業	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				○	交通環境等の改善に向けた課題を整理するため、調査の実施及びとりまとめ報告書の作成を行っている。				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				-					
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				○	交通環境等の改善に向けた課題を整理するためという目的に則した調査を実施している。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				○	調査実施内容はHP等により広く周知され活用されている。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				-					
	所管府省名	事業番号	事業名							

点検・改善結果	点検結果	令和元年度は①公共交通利用促進調査における公共交通利用等の社会実験やビッグデータの分析等、②観光客移動円滑化調査を実施し、観光客の多様な移動手段の提供方針の検討、③観光競争力強化のための魅力的な景観創出調査を実施し、モデル地区での緑化管理の検証等を実施した。支出先の選定にあたっては、競争性、透明性及び公平性の確保を図る観点から、総合評価方式により公募を行ったうえで契約を締結している。
	改善の方向性	引き続き、競争性、透明性及び公平性の観点から委託業務を発注し、国費投入の必要性、事業の効率性、有効性等を検証しながら事業を進めていく。

**外部有識者の所見**

「今後取り扱うべき施策を検討するための調査」とあり、事業として抽象的であり、現在の4件の契約内容が完了した場合、次の段階としてそれぞれが何に結びつくのか、体系性が見えない。

**行政事業レビュー推進チームの所見**

現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、当該事業について、多角的な観点から検証するなど、より一層事業の有効性・効率性・成果について適切かつ確に検証すべき。
------	--

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

予定終了通り	所見を踏まえ、事業の有効性・効率性・成果について適切かつ確となるよう検証に努める。また「今後取り組むべき施策」として、通勤・通学や観光客の移動において、継続的な公共交通利用促進策やその円滑化の方策、交通結節点や移動経路沿いの利便性・快適性を向上させる方策としている。
--------	---

**備考**

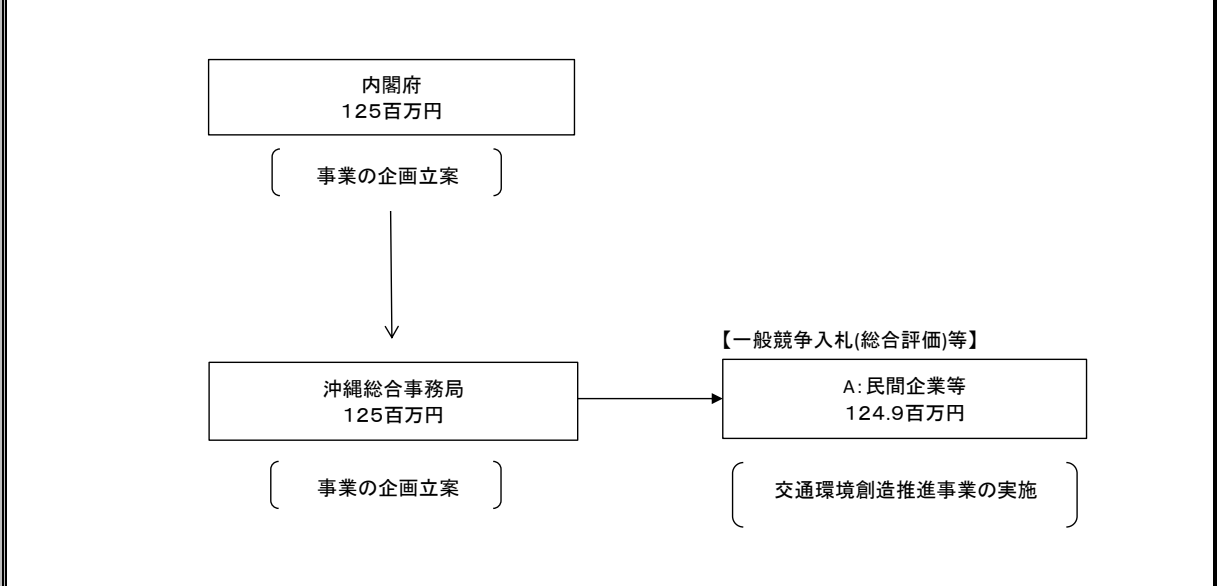
-			
---	--	--	--

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-	平成28年度	-	平成29年度	-
平成30年度	内閣府 新31-0006						
平成31年度	内閣府 ( 新31 - 0003 )						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.一般社団法人 沖縄しまて協会			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	計画、調査、検討	9.4			
	諸経費等	印刷費、旅費	0.6			
	管理費	間接原価、一般管理費等	12.9			
	再委託費	試験施工、植栽管理	24.4			
	その他	消費税	4.7			
	計		52	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載  チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人 沖縄しまて協会	2360005003753	観光競争強化のための魅力的な環境創出検討業務	52	一般競争契約 (総合評価)	1	98.5%	-
2	中央建設コンサルタント・長大設計共同体	6360001008959	沖縄次世代都市交通システム導入に関する調査検討業務	37.8	一般競争契約 (総合評価)	1	98%	-
3	計量計画研究所・中央建設コンサルタント設計共同体	5011105004806	交通渋滞緩和に向けた公共交通利用促進調査業務	20.1	一般競争契約 (総合評価)	2	81.7%	-
4	パンフィックコンサルタンツ株式会社沖縄支社	8013401001509	交通渋滞等の解消に向けた観光客の移動手段の多様化及び周遊満足度向上方策に関する業務	15	一般競争契約 (総合評価)	3	88.3%	-